№18

令和５年９月市議会定例会

提　案　理　由　（要　旨）

９月市議会定例会を招集申し上げましたところ、議員皆様には、御健勝にて御参会いただき、当面する諸案件について御審議いただけますことは、市政進展にとりまして誠に喜ばしく、感謝を申し上げます。

さて、新型コロナウイルス感染症の位置づけが５類に移行して初めての夏を迎えました。

熊谷の本格的な夏の到来を告げる「うちわ祭」では、「慎始敬終（しんしけいしゅう）」の精神のもと、４年ぶりに従来に近い形での開催となり、県内外から三日間で６２万人の方にお越しをいただきました。

姉妹都市提携３０周年の記念調印式にいらっしゃっていたインバーカーギル市のノビー市長も、初めてうちわ祭を見学され、二日目の巡行祭では私と一緒に裃（かみしも）を着て参加していただき、さらには年番町のお取り計らいで仲町区の山車に乗せていただくなど、本市の文化に親しんでいただきました。

また、熊谷の夏空を１万発の花火が彩る、熊谷花火大会も通常どおり開催することができ、今回、クラウドファンディングなどを通じて協賛いただいた皆様の花火大会開催への期待や熱い思いが込められた「スクマム！ワイドスターマイン」が初披露されました。

大輪の花が夜空を彩るたびに、大きな歓声やたくさんの笑顔があふれ、この花火大会を心待ちにしていた人々の思いや

期待の大きさを強く感じたところでございます。

こうした様々な祭りやイベントが市内の各地域で開催され、多くの方にお越しいただき、本市の文化に触れていただけたことを、大変嬉しく、そして誇らしく思うとともに、何より、コロナ禍前の日常が戻ってきたことへの喜びや幸せを改めて実感したところでございます。

これからもこの素晴らしい本市の文化や伝統を次の世代へとしっかり引き継いでいくとともに、歴史や文化、スポーツなどの魅力を県内外へと広く発信し、まちや地域の活性化へつなげてまいりたいと考えております。

さて、こうした本市の魅力の発信や市民皆様の暮らしをより便利で充実したものにするためのツールとして、今やデジタル技術は無くてはならないものとなっています。

こうした社会の変化に遅れることなく対応していくため、これまでもスマートシティの実現に向けて、様々な取組を行ってまいりましたが、それらの取組が、実証から実装へと計画的に進めていく段階となりましたことから、去る７月４日に「熊谷スマートシティシンポジウム」を開催し、議員皆様にも多数御参加をいただいたところでございます。

シンポジウムでは、私から「全ての人たちが、デジタル技術を通じて、『つながる』、『わかりあう』という輪を広げ、幸せを追い求めることができる」、そんな未来に向けて社会

を前に進めていく「熊谷スマートシティ宣言」をいたしました。

こうした他市に先駆けた新たな取組には困難がつきものですが、決して臆することなく、市民ファーストをモットーに、ニーズを的確に捉え、課題の解決や様々な可能性にチャレンジしていくことで、スマートシティの先進都市として、県北地域を牽引していきたいと考えております。

また、去る８月６日に執行された埼玉県知事選挙では県全体での投票率が 23.76％と、県知事選挙において、過去最低の投票率とのことでした。

投票率については、様々な要因があるため一概には言うことはできませんが、一人の政治家として思うことは、市民の皆様に関心を持っていただける政治を心がけるとともに、適切なタイミングで、誰もが分かりやすい情報をお届けし、行政をより身近に感じてもらえることが大切なのではないかということです。

この度の選挙で大野知事が再選されたことにより、本市の長年の懸案であり、私自身、市長就任以来、力を注いでまいりました北部地域振興交流拠点施設や利根川新橋など、本市の未来のまちづくりに欠かすことのできないプロジェクトが大きく前進することが期待されます。これらの事業を進めるに当たっては、多くの皆様の声をしっかり受け止め、行動

すべき時には迅速に、判断が必要な局面においては責任をもって決断をさせていただきながら、着実に事業を進めてまいりますので、議員皆様には、引き続きの御協力をお願いいたします。

それでは、今定例会に提案いたします議案につきまして、御説明申し上げます。

初めに、今回の補正予算案でございますが、一般会計補正予算のうち、歳出の主なものにつきまして御説明申し上げます。

民生費におきましては、物価高騰の影響を受けております保育所等の安定的な運営と保育の質を維持するため、光熱費及び食材費の一部について、県の補助金に、市単独の補助金を上乗せして支援するものでございます。

衛生費におきましては、高騰しておりますエネルギー費用の負担軽減を図るとともに、省エネやゼロカーボンへの取組を一層促進させるため、既に実施しております省エネエアコンの購入に対する補助に加えまして、「省エネ家電普及促進事業」として、省エネ性能を有する冷蔵庫等を購入する費用の一部を補助するほか、新たに「中小企業者省エネ設備導入支援事業」として、中小企業者を対象に省エネエアコンや電気温水器などの省エネ機器の整備に対する費用の一部を補助するものでございます。

農林水産業費におきましては、飼料価格の高騰により、影響を受けております市内の畜産農家を対象に、安定的な経営が図れるよう支援するものでございます。

次に、歳入でございますが、今回の補正の財源として、国・県支出金などの特定財源のほか、前年度繰越金を充てるものでございます。

以上が補正予算案の概要でございます。

このほか、令和４年度一般会計、特別会計、水道事業会計及び下水道事業会計の決算の認定につきまして、議決を賜りたく決算議案を提案申し上げます。

令和４年度につきましては、おかげさまをもちまして、全ての会計において、収支の均衡を保ち、その執行を終了することができました。ここに厚く御礼を申し上げます。

なお、本決算につきましては、監査委員から貴重な御意見をいただいておりますので、これを尊重してまいりますとともに、議員皆様の一層の御指導をお願い申し上げます。

また、一般議案といたしましては、熊谷市立妻沼西小学校の設置に関する「熊谷市立学校設置条例の一部を改正する条例」などを提案いたしております。

慎重審議の上、御可決賜りますようお願いを申し上げまして、提案理由の説明とさせていただきます。